

リハビリテーション科専門医会 新幹事会と今後の活動計画

リハビリテーション科専門医会幹事会

2014年11月15日、16日に鹿児島市民文化ホール（鹿児島市）にて開催された第9回リハビリテーション科専門医会学術集会の会期中に、専門医会年次総会が開催され、幹事選挙の結果選出された幹事候補者10名が報告され、その後11月29日の日本リハビリテーション医学会理事会にて幹事として承認されました。新幹事は、池田 聡、大串 幹、加賀谷 斉、角田 亘、笠井史人、下堂 蘭恵、中村 健、平岡 崇、水尻 強志、八幡 徹太郎（50音順）です。また、11月16日に開催された平成26年度第3回専門医会幹事会において、幹事長として大串 幹が選ばれ、副幹事長として、笠井史人、下堂 蘭恵が指名されました。

専門医会は、専門医の資質向上を図り、関係する研究・研修活動に積極的に取り組み、リハビリテーション医学・医療の発展と普及に寄与することを目的とし、主な事業として、(1) 専門医会学術集会の開催、(2) 専門医の生涯教育、(3) 研究・研修活動、(4) 専門医会に関する広報などを行うこととされ、幹事会は専門医会の核として、これらの事業を企画実行しています。

前幹事会では具体的事業として、①年次学術集会での専門医企画（50回：専門医の国際情勢、51回：小児リハ）、②SIG（special interest group）活動（小児リハ、基礎研究、脊髄障害、切断・義肢、ポリオ後症候群、痙縮治療、筋電図・臨床神経生理）、③専門医会学術集会でのハンズオン、④専門医の交流活動、⑤RJN（リハビリテーション科女性医師ネットワーク）支援、⑥市民公開講座開催（リハビリテーション科専門医のアピール）、⑦専門医の臨床研究支援のための補助金事業などを行ってまいりました。

新幹事会では、これらに加えて、来るべき日本専門医評価・認定機構による新専門医制度改革に向けて、リハビリテーション科専門医の更なる質の向上、社会へのアピール、医学生、初期研修医のリハビリテーション科選択の促進のためのより効果的な戦略の立案検討を待たなしの課題と定め、新年度の活動計画に、⑧学会データベースを利用した研究推進（専門医アウトカム分析）、⑨リハビリテーション医学講座のない大学の医学生に対するリハ初期講義、⑩リハビリテーション関連職種との連携強化、⑪各地方での専門医スキルアップなどの計画を加え、新年度を待たずに準備を開始いたしました。

これらの活動の昇華のためには、リハビリテーション科専門医の先生方の積極的なご協力が必要です。今後とも専門医会活動へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。